

日本発ドイツ便り～Frohe Weihnachten!～

気がつけば、もう来週はクリスマス！

一週間のたつのは遅いけど、一年が過ぎるのは早いものです。

日本のクリスマス＝「ハレの日」で盛大に騒ぐ！というイメージがありますが、本場（？）ドイツの Weihnachtsabend（ヴァイナハツアーベント：クリスマスイヴ、もしくは Heiligabend：ハイリツヒアベント）は、本当に静かです。たぶん元旦の午前中を除けば、一番静かな日だと思います。お店もレストランも午後の早い時間には全部閉まってしまい、みんな急いで家に帰って、家族みんな揃っておいしいものを食べる！これがクリスマスの過ごし方です。（旅行者にとっては、かなりさみしい一日です。でもゴーストタウンのような町の風景を見られる、というちょっと珍しい体験はできると思います。）

ドイツでは、サンタさん（St. Nikolaus：ザンクト・ニコラウス、子供達の守護神だそうです。）は12月6日の St. Nikolaustag、ニコラウスの日という祝日にやってくるので、クリスマスには、家族でプレゼント交換です。クリスマスと言えば、お菓子を作ったり、プレゼントを買ったり、飾り付けをしたり、ごちそうを作ったり、出費はかさむし、直前のショッピングセンターは大混乱、車は大渋滞で、この時期が相当「ストレス」と感じる人も多いようですよ。プレゼントひとつにしたって、日本のように無料できれいにラッピングしてくれる、なんてサービスはどこにもないですから、包装紙を自分で買って、自力で頑張るのです。

日本ではクリスマスと言えば、12月24日・25日で終了ですが、ドイツでクリスマスと言えば、Advent（アドヴェント：クリスマス前4週間の準備期間）から始まって、1月6日までがWeihnachten（ヴァイナハテン：クリスマス）です。日本では25日を過ぎてもクリスマスソングが流れていたり、ツリーが飾られていたりすると変な感じですが、ドイツでは、1月6日まではそのままです。

この時期の楽しみ、クリスマス市（Weihnachtsmarkt：ヴァイナハツマルクト）暗くて寒い

ドイツで、広場に明かりがともり、キラキラひかる大きなツリー、人がいっぱいいて、お店がいっぱいあって、砂糖菓子の甘いにおいとグリューワインのシナモンとスパイスの匂い。クリスマスプレゼントや飾りを買ったり、ちょっと寄って温かいグリューワインを両手に友達と話したり、おなかが空いたら焼きたてソーセージをかじったり、なかなか素敵な楽しみ方だな、と思います。日本からも「ドイツクリスマス市めぐり」というツアーが大好評なのですが、最近では、ヨーロッパの近隣諸国からも連日バスですごい数の観光客がドイツのクリスマス市に遊びに来るそうですよ！でも百聞は一見にしかず！少しでも興味を持った方は、ぜひご自分で「Weihnachtsmarkt」を体験してほしいと思います！

私の大好きな Weihnachtsmarkt の写真を少し。



フランクフルト：Römer 広場のクリスマス市。



ウィーン：Schönbrunn 宮殿のクリスマス市



これまたウィーンの市庁舎前のクリスマス市

Frohe Weihnachten! 素敵なクリスマスを!